

2023年1月18日
AEON TOWAリサーチセンター
公益財団法人イオン環境財団

AEON TOWAリサーチセンター 里山シンポジウム開催 **多世代で語る共に育つ里山**

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役 代表執行役会長以下当財団）は、早稲田大学環境総合研究センター（小野田弘士 環境総合研究センター所長）と1月19日（木）に、早稲田大学大隈講堂にて「AEON TOWAリサーチセンター 里山シンポジウム」を開催します。

両者は、時代に即した環境課題の解決を目的に、2020年に「AEON TOWAリサーチセンター」を設立しました。当リサーチセンターは、双方のこれまでの経験や知見、学術研究を結合し、環境をはじめとした地域課題対応や人材育成など新たな価値を創造することで、持続可能な社会の実現を目指していくものです。

2回目となる本シンポジウムは、「多世代で語る共に育つ里山」をテーマに、里山について、大学生・専門家が、各活動地での研究で得た知見をもとに、活動地の自治体関係者を交えてディスカッションします。

両者は、いのちあふれる美しい地球を次代に引き継ぐため、今後も新たな里山づくりをはじめとする環境活動に積極的に取り組んで参ります。

【AEON TOWAリサーチセンター 里山シンポジウム 概要】

日 時：2023年1月19日（木）13：00～17：30
主 催：早稲田大学環境総合研究センター、AEON TOWAリサーチセンター
共 催：公益財団法人イオン環境財団
場 所：早稲田大学 大隈講堂（東京都新宿区戸塚町1-104）
開催方法：ZOOMウェビナー・現地ハイブリッド開催（参加費無料・事前登録制）
内 容：第一部「社会デザインのきっかけとなる里山」
第二部「共に育つきっかけとなる里山」
第三部「課題解決のきっかけとなる里山」

詳細は、<https://www.aeontowa.jp/> から

※ご出席は、下記URL、若しくはQRコードよりお申込みください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_97a11xDsSPOIZVEw-V6o_g



【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人イオン環境財団 加治・大津 TEL：043-212-6022

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業を中心に活動に取り組んでいます。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。

1991年からのイオン全体の植樹の累計本数は、1,243万本をこえています。

本年度、当財団は、北海道南富良野町、宮城県石巻市、石川県金沢市、千葉県習志野市・君津市・山武市、滋賀県甲賀市、宮崎県綾町で植樹を行いました。また、海外では、香港、インドネシア、ジャカルタで植樹を実施しています。

【これまでのイオン環境財団と早稲田大学との主な取組み】

■アジア学生交流環境フォーラム（ASEP）

グローバルなステージで活躍する環境分野の人材育成を目的として、アジア各国の大学生が集い、各国の自然環境や価値観の違いを学びながら地球環境について国境を越えて討議をするフォーラムを実施しています。10回目となる本年度は、早稲田大学を幹事校とし、インドネシア大学（インドネシア）、王立プノンペン大学（カンボジア）、清華大学（中国）、早稲田大学（日本）、マラヤ大学（マレーシア）、高麗大学校（韓国）、フィリピン大学（フィリピン）、チュラロンコン大学（タイ）、ベトナム国家大学ハノイ校（ベトナム）の10校が参加しました。各国の自然環境や歴史、文化、価値観の違いなどを学びながら、地球環境問題について討議を行いました。

■早稲田大学環境総合研究センターについて

早稲田大学環境総合研究センターは、地域はもとより地球規模で複雑かつ深刻化しつつある環境問題の解決をめざすため、文理融合・学問領域統合型の研究推進体制を学内に構築すべく、2002年7月に設置されました。生活圏としての地域、国全体、さらにアジアから全世界へと繋がる空間的な視点や、環境問題に関わる過去、現在、そして持続可能であるべき未来にわたる時間的な視点。また、社会・経済システム、法制度・政策との関わり、さらには伝統や文化、習慣、ライフスタイルにまで至る複層的な視点を持ち、多様な環境課題に取り組んでおります。

<早稲田大学環境総合研究センターホームページ : <https://www.waseda.jp/fsci/weri/>>

■イオン環境財団寄附講座（早稲田大学社会科学部）設置について

2022年度より、イオン環境財団と早稲田社会科学部は、イオン環境財団寄付講座を設置しました。本講座では、サステイナブルコミュニティの構築を目指す最新の学術研究、先進事例を学び、学びを通じて共に考えるアクティブラーニングの実践を行っております。こうした実践を通じ、「次の社会に貢献する人材」の育成につなげることを目的としています。

<寄付講座ホームページ> http://www.aeontowa.jp/sustainable_community.html